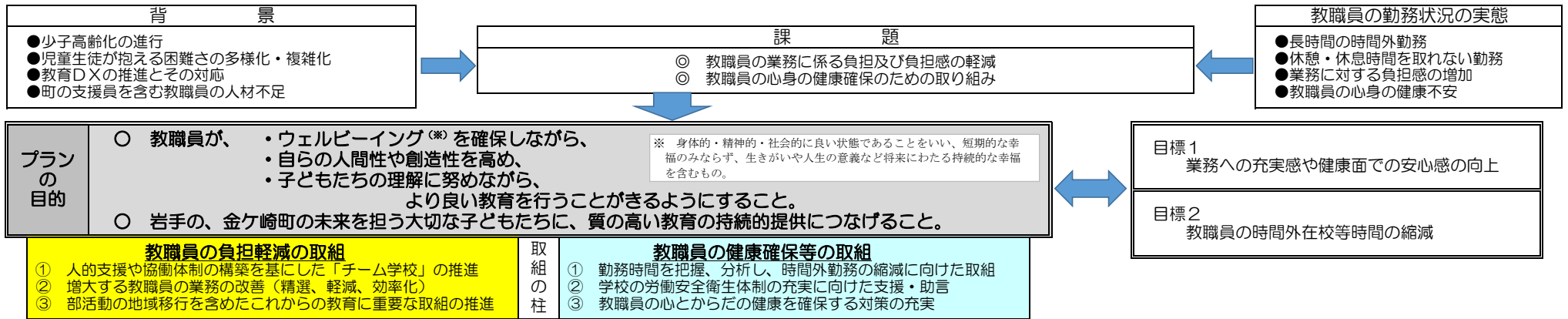


2025年度 金ケ崎町立小・中学校教職員 働き方改革プラン(2024~2026)



※ 身体的・精神的・社会的に良い状態であることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。

教職員の負担軽減の取組		
(1)「チーム学校」の推進	(2)学校業務の改善支援	(3)これからの教育への対応
ア 学校運営の工夫、チーム体制の構築（学校） ① 生徒指導体制の整備など、全教職員一丸となった学校運営 ② 学級・学年経営力の強化 イ 学校をサポートする専門スタッフ等の配置（町教委） ① 国・県教委による専門スタッフ等の配置の要望 ② 町教委による専門スタッフ等の配置の検討	ア 業務内容の改善 ① 共同事務室による事務処理の適正化（学校） ② 校務支援システムの活用（学校） ③ 各種調査依頼の精選、調査方法の効率化（町教委・学校） ④ 各種コンクール等の作品応募・募集依頼の精選（町教委・学校） ⑤ 外部機関からの依頼、学校への依頼の精選（町教委） イ 授業改善等に係る支援（町教委・学校） ① 各種会議、研修会の在り方の検討及び内容の精選 ② 各種学習状況調査結果集約・活用の効率化	ア 全ての教員で創り上げるカリキュラム・マネジメントの推進（学校） イ ICT教育の充実（町教委・学校） ウ 学校運営協議会の推進（学校） エ 部活動の地域移行に係る具体的取組の推進

教職員の健康確保等の取組
(1)勤務時間の適正管理
ア 時間外在校等時間の把握(町教委・学校) イ ノー残業デーの実施(学校) ウ 学校閉庁日の設定(町教委・学校) エ 時間外在校等時間の上限(町教委・学校)
(2)労働安全衛生体制の充実
ア 校内安全衛生推進会議の実施回数等の確保と内容の充実(学校)
(3)心とからだの健康対策(町教委・学校)
ア 長時間勤務者への産業医による保健指導の確立 イ 専門医によるメンタルヘルス相談の充実

金ケ崎中学校の取組	
教職員の負担軽減の取組	教職員の健康確保等の取組
○行事やPTA活動の精選と負担の軽減を図る。会議は、短時間での開催とする。 ○昨年度の取組を基に、今年度実施予定の行事や活動内容の見直しを図る。 ○部活動指導員を剣道部、羽球部に配置し、担当する教職員が、技術指導を部活動指導員に依頼できる状況になっている。 ○毎週月曜日をノー部活デーとした取り組みを継続する。 ○テスト当日を部活動休止とし、テスト処理の時間を確保する。また、技術・家庭科のテストは処理を計画的に行うため、期末テスト前に変更して実施する。 ○校務用PC内のdesknet'sを活用し、全職員への連絡事項等の効率化・ペーパーレス化を図る。 ○印刷室の環境整備やコピー機機能の有効活用等、印刷業務負担の軽減を図る。	○長時間勤務者の状況を把握し、同一の職員の業務が多にならないように配慮する。 ○年次休暇や病気休暇などの申請や取得がし易い雰囲気づくりと、教職員間で互いに理解し合い、カバーし合う体制づくりに努める。 ○管理衛生委員会の開催を年間計画に位置付け、ワーク・ライフ・バランスに係る職員の声を集め、より働きやすい職場環境づくりに努めるとともに長時間勤務者の負担軽減について、組織的な対応を検討する。 ○時間外勤務報告を活用し、個に応じた働き方の工夫・改善を図る機会を作る。